

日頃から顔の見える連携づくり.

～身近で気軽な薬剤師間のコミュニケーションの場～

“ TYP-salon ” いよいよ開幕します

2022年5月2日

済生会横浜市東部病院
薬剤部 大幸 淳

これまでのTYPネットでは

- ✓ “安心安全”をテーマに、ヒューマンエラーに関する共通認識
- ✓ 日々の業務を振り返り、“患者さんのためには”いかに未然回避することができるか

をテーマに、定期的に研修会を開催してきました。

Tsurumi Young Pharmacist Network (TYPネット) 勉強会

**みんなで目指そう！
安心安全な薬物療法**

～病院 医薬品情報室の目線から～

2019年2月8日
済生会横浜市東部病院
薬剤部 大幸 淳

2019.2.7_TYP-net

Episode-1
-MTXによる間質性肺炎-

まずは疑う。 -初期症状-

咳嗽 息切れ 発熱 呼吸困難

可能性を知る。

抗リウマチ薬	: MTX パイオ製剤
抗悪性腫瘍剤	: nab-PTX, PTX, DOC, GEM, 5-FU, 内服TKI製剤
不整脈薬	: アミオダロン
NSAIDs	: セレコキシブ、ロキソプロフェン etc
抗生物質	: CTRX (セフトリアキソン)、CFPM (セフェピム)
漢方製剤	: 小柴胡湯、紫苓湯。

Chapter 3.

Chapter Summary.

**同じ患者さまを、同じ目線で見る！
そのために必要な知識共有 と 症例情報の連携。**

- ✓ お互いの実情 と 忌憚のない意見交換を。
- ✓ 改善に繋げる、建設的な意見交換を。

MESSAGE

同じ患者さんを、同じ目線でみること、知識の共有と症例情報の連携が必要。
このTYPネットでの共通認識になったと思っています。



これまでのTYPネットでは

知識の共有と症例情報の連携のツールとして、
トレーシングレポート を取り上げ、

1. 有害事象の「未然回避」、「重篤化回避」につながるもの
(= プレアボイド事象)
2. 医療情報上、当院のみでは、認識できないもの
(他院投薬との相互作用 など)
3. 病院では伝えていないと思われる、患者からの発言・訴え
(相当数あるとの文献もある)

など薬局薬剤師と病院薬剤師の連携の充実を主旨に、

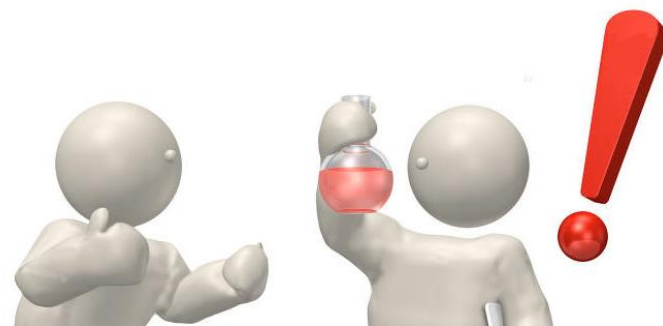
鶴見地域において、もっともっと顔の見える関係を深めていく
ことが、地域住民への貢献につながるのではないかと

と考え、その連携強化・深化を行ってまいりました。

**“さらに身近で気軽な”
薬剤師間のコミュニケーションの場**

TYP-salon

を、立ち上げます





TYP-salon は、

アフターコロナでも持続可能な仕事の枠を飛び越えた 薬剤師間コミュニケーションの醸成



× 研修会で会う顔見知り



○ 顔の向こう側が見える関係



☆ 顔を通り超えて信頼できる関係

を目指します。

TYP-salon が目差すところ ～Story～

仕事の枠を飛び越えた
薬剤師のコミュニケーション。

“共通知” の醸成。

効率的・労力の削減。
エラーの未然回避。

患者さんに対して
質的・量的な貢献。



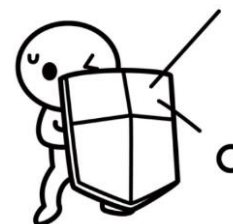
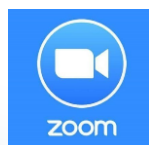
ICTの利用。
仲間-なかま-。



薬剤師力の向上。
患者個々への介入。



より多く・より深く
より質の高い介入を。



TYP-salon

TYPネット
トレーシングレポート

サルビアねっと
服薬情報提供料
フォーミュラリ

薬剤師への信頼

“共通知” は薬剤師個人や自施設に留めておく必要はない

薬剤師間での

- 薬物治療上の疑問・知識
- 薬事全般の制度上の疑問・知識
- 患者個々が抱える状況や問題点



“気兼ねなく他の薬剤師に聞ける・話せる場”

そして

“聞ける・話せる場が常に存在する” を日常にする

これを体現したのが

TYP-salon



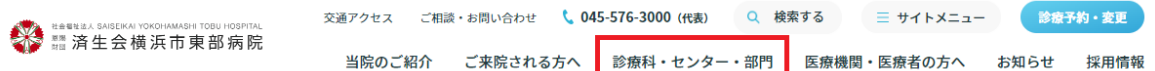
TYP-salon 参加に際し ご留意いただきたい点

- ✓ 開催趣旨にご理解・ご同意いただいた薬剤師の方。
- ✓ あくまで鶴見地域を中心に、薬剤師間の連携を深める活動であること。
- ✓ メーリングリストやZOOM®といったICTを活用したコミュニティを目指すこと。
- ✓ 参加者すべてがオープンに発言できる雰囲気づくりに協力いただけること。
- ✓ “仕事”とは線を引き、薬剤師個人として参加いただけること。

以降は、参加いただく皆さんと深めていきたい

TYP-salon 参加方法

Step1. 東部病院のホームページ 上段「診療科・センター・部門」



Step2. 診療サポート部門の「薬剤部」

診療サポート部門

薬剤部	>	臨床工学部	>
臨床検査部	>	放射線部	>
リハビリテーション部	>	栄養部	>

Step3. 「医療関係者の方へ」「薬薬連携の考え方」



医療関係者の方へ

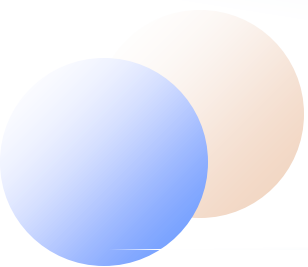
薬薬連携の考え方・合同研修会のご案内	在宅医療の展開に向けて	薬事委員会から採用薬変更のご案内	経義照会の方法および連絡先	がん化学療法に関するお問い合わせ先	調剤ミスを起こしてしまったら
--------------------	-------------	------------------	---------------	-------------------	----------------

Step4. TYP-salon に登録.

☆鶴見地域連携コミュニティ “TYP-salon” の開催と参加登録について☆

<開催趣旨> [こちらからPDFにて参照ください。](#)

<参加登録方法> [別で展開される google フォーム](#) に必要事項を入力し、[メーリングリストに登録してください。](#)



定例開催

第2、第4、木曜日 21 : 30 start.

開催案内や接続情報については、
メーリングリストにて情報共有いたします。

参加前にご不明な点などがございましたら
以下までお問い合わせください。

済生会横浜市東部病院
薬剤部 医薬品情報室
大幸 淳

a_daikoh@tobu.saiseikai.or.jp